

定量化審査項目と配点（案）

1. 定量化審査項目設定の考え方

定量化審査項目の設定にあたっては、「一般廃棄物処理施設基本構想」（以下「基本構想」という。）に示されている基本構想の基本方針を踏まえた審査項目とする。

■基本構想の基本方針

(1) 環境保全の充実

各組合のごみ焼却施設においては既にダイオキシン類の排出基準を満足していますが、ごみ処理広域化により、処理技術、環境保全技術の充実を図り、ダイオキシン類等の発生抑制を推進する。

(2) 廃棄物処理コストの削減

ごみ処理の集約化により、ごみ処理施設の効率的、合理的な整備・運営を推進し、施設整備費、運営・維持管理費の削減を図る。

(3) リサイクルの推進

不燃ごみ、粗大ごみ、資源物の処理・資源化に関しては広域的に連携し、より効率的で安定した処理体制と再資源化ルートの確保を図る。

また、新たな処理技術の導入や民間活用によりリサイクルを推進する。

(4) 未利用エネルギーの有効利用

既存施設において余熱利用は場内における給湯や福祉施設への温水供給などを行ってきたが、省資源、省エネルギー及び温室効果ガス削減の観点から広域ごみ処理施設ではさらにごみ発電等により未利用エネルギーの有効利用を推進する。

(5) 最終処分場の確保

広域的な視点で最終処分場を確保し、計画的かつ安定した最終処分を継続する。

(6) 被災時の対応強化

阪神淡路大震災、東日本大震災等による甚大な被害を教訓として、ごみ処理施設に対しては防災対策の強化とともに被災時の拠点機能の確保を図る。

出典：一般廃棄物処理施設基本構想

2. 設定事例

主な先行事例における定量化審査項目と配点を別紙に示す。

先行事例の DBO 事業では、地域の特性や発注者が整備・運営に際して重視したい点を鑑みて審査項目及び配点を設定している。また、審査項目は、委員の意見を反映し、設定している。

3. 定量化審査項目

定量化審査項目については、基本構想の基本方針を踏まえるとともに、先行事例を参考に設定する。なお、本件事業は、設計・建設から運営までを含む長期間にわたった事業であることにも配慮する。

(1) 大項目の設定

先行事例では、大項目は大別して①設計・建設工事、②運営・維持管理、③事業計画、④入札価格に区分することができる。

②運営・維持管理は、設計時点から長期的な維持管理を見据えた対応が望ましいため、一体化することが望ましいと考えられる。なお、③事業計画は、長期間にわたる事業の事業収支やリスクへの対応等の事業全体の運営に掛かる事項であるため、大項目として設定する。

以上より、本件事業では、大項目を以下のとおり設定する。

1. 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項

2. 事業計画に関する事項

3. 入札価格

(2) 中項目の設定

中項目は、基本構想の基本方針を反映して設定する。なお、基本方針のキーワードは小項目または細目にて反映する。

基本方針	基本方針のキーワード	審査項目	
		大項目	中項目
(1) 環境保全の充実	環境保全技術の充実、ダイオキシン類の発生抑制	1. 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項	(1)環境に配慮した施設
(2) 廃棄物処理コストの削減	整備費・維持管理費の削減	3. 入札価格	—
(3) リサイクルの推進	資源化の推進	1. 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項	(2)資源循環に配慮した施設
(4) 未利用エネルギーの有効利用	ごみ発電		
(5) 最終処分場の確保	安定した最終処分		(3)安全性の確保及び安定稼働に配慮した施設
(6) 被災時の対応強化	防災対策の強化		

大項目「2. 事業計画に関する事項」は、本事業の事業特性に配慮して中項目として設定する。

(3) 小項目及び細目の設定

小項目及び細目は、1項目ごとの配点を付すものとする。そのため、実際に提案書を審査するうえでの観点や配点のバランス等を含めて検討する必要がある。次頁に定量化審査項目と審査の視点の案を提示する。

なお、審査の視点に示す用語の定義は以下のとおりである。

「計画性」：課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する

「実効性」：求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する

「妥当性」：提案内容そのものが適切かどうかを判断する

審査項目				NO.	審査の視点	配点
大項目	中項目	小項目	細目			
1 設計・建設工事及び運営・維持管理に関する事項						40点
(1) 環境に配慮した施設						11点
ア	環境保全	①	公害防止基準を満足するための取組み	1	・各公害防止基準を満足するための方策に実効性を期待する。 ・更なる環境負荷の低減に向けた要監視基準値、運転基準値の設定と監視方法、超過時の対応に実効性を期待する。 ・水銀対策として設計面、運転・運営面の対応に実効性を期待する。	4点
		②	地球温暖化対策	2	・地球温暖化対策に寄与する使用電力削減等の省エネルギー対策の計画性と実行性を期待する。	1点
イ	環境学習計画	①	見学者対応及び環境学習計画	3	・子ども、高齢者、障がい者など、見学者の年齢や立場等に配慮した環境学習プログラム、見学ルート、引率・説明方法、見学窓の配置等について、計画性と具体性を期待する。 ・見学者が体験を通じて、学習できるプログラムを期待する。 ・見学設備及び環境学習プログラムに対し、社会の変化に即応した対処や方策に期待する。	3点
ウ	景観	①	景観	4	・従来のごみ処理施設のイメージを払しょくする環境調和型建築デザインを期待する。 ・周辺環境と調和した景観となることを期待する。	3点
(2) 資源循環に配慮した施設						7点
ア	エネルギーの有効活用	①	発電量	5	・使用電力の削減、ごみ質変動を考慮した定格発電出力の設定による売電量の最大化に期待する。	4点
イ	資源化及び最終処分	①	残渣量	6	・ごみ焼却施設から生じる焼却残渣の最小化に期待する。 ・ごみ焼却施設及びリサイクルセンターから生じる最終処分物（処理不適物等）の削減について、設計面及び運営面からの計画性と実行性を期待する。	3点
(3) 安全性の確保及び安定稼働に配慮した施設						22点
ア	配置動線計画	①	屋外配置動線計画	7	・敷地条件を踏まえた全体配置計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・車両と車両、車両と人に対する安全確保に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・住民に分かりやすい車両動線の構築及び場内誘導・サイン計画に対し、計画性と妥当性を期待する。 ・多様な搬入・搬出車に対し、安全かつ円滑な計量システムの構築を期待する。	3点
		②	屋内配置動線計画	8	・ごみ焼却施設及びリサイクルセンターのプラットホームにおける受入供給設備、待車、貯留、移送、投入作業等の配置動線計画に対し、安全性、作業性及び合理性を期待する。	3点
ウ	施設の安全性	①	災害時の安全確保	9	・地震、火災、停電等の予期せぬ災害による人身事故、機能障害等の防止や見学者及び作業員の緊急避難について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 ・ヒューマンエラーによる一次災害・二次災害を防止する機能やシステム、ルールの構築に期待する。	2点
		②	火災・爆発対策	10	・ごみ焼却施設及びリサイクルセンターの火災・爆発における、事前・事後対策について計画性と妥当性を期待する。	2点
エ	施設の安定稼働	①	処理システムの信頼性	11	・提案する炉形式において建設実績が豊富であり、実績に基づく信頼性の高い処理システムが構築されていることを期待する。	4点
		②	基本性能の維持	12	・ごみ焼却施設及びリサイクルセンターの基本性能の維持を考慮した点検、検査、補修及び更新の各対応について、計画性と妥当性を期待する。 ・ごみ焼却施設及びリサイクルセンターの事業終了後の整備コスト縮減のための方策について、計画性と実効性を期待する。	4点
		③	トラブルの未然防止及び事後対策	13	・建設時及び運営時におけるトラブルの未然防止策及び事後対策について、具体性と実効性を期待する。	2点
		④	搬入・搬出管理	14	・ごみ焼却施設及びリサイクルセンターのごみの搬入管理の適正化及び効率化について、設計面及び運営面からの計画性と妥当性を期待する。 ・年末等の繁忙期における車両集中時の対応方法について、計画性と妥当性を期待する。	2点
2 事業計画に関する事項						20点
(1) 組織体制						4点
	組織体制	①	組織体制・人員配置計画	15	・組織体制及び運転管理体制において、各々の役割分担が明確であり、必要箇所に必要な人員が配置されていることを期待する。 ・他施設での運転管理経験に基づき、運営面での効率化に繋がる設計上の工夫等を適切に本施設の設計にフィードバックできる設計体制の構築を期待する。	4点
(2) 経営計画・事業収支計画						6点
	事業収支計画	①	経営計画及び事業収支計画策定の考え方	16	・20年間にわたる安定した事業経営計画及び事業収支計画（適切な運営費の設定を含む）について、計画性と妥当性を期待する。	3点
		②	事業の継続性に係る担保	17	・事業初期段階の資金、20年間にわたる事業の安定継続の観点から十分な資本金が設定されていることに期待する。 ・長期にわたる事業継続性の担保に係る提案に対して、実効性と妥当性を期待する。 ・保険の具体的な付保内容に対し、妥当性を期待する。	3点
(3) リスク管理方法						3点
	リスクの管理及び対処方法	①	リスク管理及びセルフモニタリング	18	・リスク顕在化確率やリスク顕在化時の影響の極小化を可能とするリスク管理方針及び管理体制の構築を期待する。 ・事業実施前の段階において、リスクへの対処方法に対して十分な検討を行う仕組みと方策を期待する。 ・必要かつ十分なセルフモニタリング（事業計画のモニタリング）の内容及び頻度を期待する。	3点
(4) 地域貢献						7点
	地域経済及び地域社会への配慮	①	地元企業の活用と地元雇用	19	・本件事業の実施に関して地元企業の活用と地元雇用に最大限配慮した計画となっていることを期待する。 ・運転員等に係る地元雇用に関し、人員の移行計画及び教育計画について、施設の安定稼働への配慮と実効性を期待する。	5点
		②	地域への社会貢献	20	・地域への社会的貢献策について、妥当性を期待する。 ・周辺住民との信頼関係の確立方法及び安心感の醸成のための運営面の工夫について、妥当性を期待する。	2点
3 入札価格に関する事項						40点
	(1) 入札価格			21	—	40点

審査の視点に示す用語の定義は以下のとおりである。

「計画性」：課題、原因、事例等の分析から提案内容を導いた過程や考え方が適切であるかを判断する

「実効性」：求めた性能、機能、方策について、実際に効果があるかを判断する

「妥当性」：提案内容そのものが適切かどうかを判断する

技術点	60点
価格点	40点
計	100点